

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年7月15日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	竹田市 (44208)
地域名 (地域内農業集落名)	白丹地区 (巢原、白丹町、宮原、丸山、陽谷、寺原、仲原、中通、瀬戸、杉の原、東小路、 西小路、尾登、米賀、添ヶ津留、南稲葉、稲葉、梅ノ木、後山、荻ノ迫、)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	814.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	626.9 ha
② 田の面積	305.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	307.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	14.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	35.7 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

白丹地区在住の農業経営体数は120(2020農林業センサス)で平均年齢が一部データでは72歳ほどとなっており久住町の中でも高齢化が最も進んでいる。また70歳代の農業者が主力となって経営している集落が多く10年先の農業が懸念される。農業の主力は畜産業であり、高齢化や子牛価格の下落により廃業が進むと、今後の農地利用が危惧される。地区内に集落営農法人が1組織ある以外は機械利用組合であり、経営方針は個々によるところが大きく、効率的な農地の集約が進む状況にない。持続的に農地の利用を図りながら地区の活性化を進めるためには、営農組合の法人化を含めた組織強化や後継者・新規就農者の育成確保が必須である。また地区住民などの意見を踏まえ地区全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

1. 白丹地区の基礎的データ

経営体数:120経営体

認定農業者数:37経営体

認定新規就農者数:2経営体

主な作物: 主食用水稻・新規需要米・飼料作物・夏秋トマト (肉用牛)等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

○農地の保全 地区の特産である肉用牛の飼育に欠かせない飼料の生産が農地の保全に大きく貢献している。一方で飼料高騰もあり繁殖農家の経営が圧迫されていることから、飼料生産の時間を確保できるよう飼育に係るICT機器の導入を進めるとともにスマート農業の推進を図る。 また、年々増加する鳥獣被害対策を地域全体で防護柵の設置など計画的に実施し所得の向上を図る。 ○農業施設の保全 農業従事者が減少することで負担が大きくなっている水路農道を中長期的に管理できるよう、水路のパイプライン化や農道の舗装化など長寿命化の取組を進める。 また、機械の大型化に対応するため再基盤整備の検討を行い、生産性向上を図る。(基盤整備する場合、農地の所有者に関係なく地形を優先し区画整理する。) ○担い手の確保 新たな人材として農業ボランティアの受け入れ態勢の構築を目指す。 新規就農者に斡旋できる農地の確保 ○白丹ならではの付加価値 水路の探検ツアーや田んぼの「映えスポット」など交流と情報発信で地域の活性化に結び付ける。 営農の敵となっているイノシシを資源化(イノシシ牧場・革製品の開発・ジビエ など)出来ないか研究する。 水稻作付が困難な農地には柚子・カボス・など新植し、加工品を白丹の拠点施設「白丹温泉館」などで販売する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付を進め、担い手(認定農業者等)への農地の集積・集約化を基本とし、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	23.5 %	将来の目標とする集積率	29.2 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
圃場整備された農地と未整備圃場があるため耕作条件の良い圃場を優先的に団地化を進める。また、地域及び担い手の集約意向を確認するため、協議の場を定期的に設定する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
農地中間管理機構を活用して認定農業者や新規就農者、参入企業などの担い手に貸し出すとともに、面積拡大と団地化を進める。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
貸出希望の農地を農地中間管理機構を通じて担い手に貸し付け、担い手の経営意向を考慮しながら、段階的に集約化を進める。	
(3)基盤整備事業への取組	
農地や農道などが狭く、大型機械が入れないような農地については、担い手の確保と地権者の負担軽減を考慮しつつ、整備を行う。また、基盤整備を実施する場合は可能な限り所有者に関係なく地形に合った最適な大きさの区画になるよう進める。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
市やJAと連携し、移住希望者や新規就農希望者、企業など多様な経営体を募集し、栽培指導や農業用機械の貸し出しなどの生産支援と住居や農地をあっせんするなどの生活支援を行い、定住しやすい環境づくりを行う。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
地区内の集落営農組織や飼料作物の収穫を担えるコントラクター組織を育成し、高齢等により営農が難しくなった者の農作業や農地の管理を担える体制を整える。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシやシカの被害が拡大しないように防護柵等獣害対策を講じる。
- ②畜産農家と連携し有機・減農薬・減肥料に取り組む。
- ③GPSによる自動運転やドローンなどの省力化機械の導入。
- ④⑤耕作が困難な農地は畑地化し、果樹等を植える。
- ⑧水路のパイプラインや農道の舗装化など農業施設の長寿命化。
- ⑨資源循環によるコスト削減。
- ⑩ボランティアの受け入れ態勢の構築。農産物、イノシシなどの加工品の開発。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
		別紙1のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		受託作業(定植、収穫等)	大豆
2		受託作業(定植、収穫等)	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	-	うち計画同意者数(人・%)	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	45853.0 (第1回) ha	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		採卵、水稻	1.8 ha	ha	採卵、水稻	1.8 ha	ha	赤	
認農		酪農、繁殖牛等	7.8 ha	ha	酪農、繁殖牛等	12.8 ha	ha	赤	
認農		採卵、水稻	1.3 ha	ha	採卵、水稻	1.3 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	12.8 ha	ha	肉用牛、水稻等	12.8 ha	ha	赤	
認農		採卵	0.8 ha	ha	採卵	0.8 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	3.3 ha	ha	肉用牛、水稻等	3.8 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物	2.6 ha	ha	肉用牛、飼料作物	2.6 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	4.0 ha	ha	肉用牛、水稻等	4.7 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物	0.5 ha	ha	肉用牛、飼料作物	0.9 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	2.2 ha	ha	肉用牛、水稻等	2.2 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	9.8 ha	ha	肉用牛、水稻等	13.2 ha	ha	赤	
認農		柚子、乾しいたけ等	2.0 ha	ha	柚子、乾しいたけ等	4.3 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	6.5 ha	ha	肉用牛、水稻等	6.5 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物等	3.5 ha	ha	肉用牛、飼料作物等	3.5 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	3.5 ha	ha	肉用牛、水稻等	3.8 ha	ha	赤	
認農		水稻、飼料用米	7.5 ha	0.1 ha	水稻、飼料用米	8.4 ha	0.1 ha	赤	
認農		水稻等	7.7 ha	0.1 ha	水稻等	13.2 ha	0.2 ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物等	3.4 ha	ha	肉用牛、飼料作物等	3.4 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	2.7 ha	ha	肉用牛、水稻等	2.7 ha	ha	赤	
認農		トマト	1.0 ha	ha	トマト	1.0 ha	ha	赤	
認農		酪農、水稻等	1.8 ha	ha	酪農、水稻等	1.8 ha	ha	赤	
認農		繁殖牛、水稻等	2.2 ha	ha	繁殖牛、水稻等	2.2 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物等	1.5 ha	ha	肉用牛、飼料作物等	1.5 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、しいたけ	6.3 ha	ha	肉用牛、しいたけ	8.3 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	3.5 ha	ha	肉用牛、水稻等	7.5 ha	ha	赤	
認農		水稻、りんどう等	0.6 ha	ha	水稻、りんどう等	0.6 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物等	0.7 ha	ha	肉用牛、飼料作物等	0.7 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、水稻等	1.2 ha	ha	肉用牛、水稻等	1.2 ha	ha	赤	
認農		アルストロメリア	0.9 ha	ha	アルストロメリア	0.9 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物等	2.6 ha	ha	肉用牛、飼料作物等	2.6 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物	2.6 ha	ha	肉用牛、飼料作物	2.6 ha	ha	赤	
認農		水稻、飼料作物	0.7 ha	ha	水稻、飼料作物	0.7 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物	2.6 ha	ha	肉用牛、飼料作物	2.6 ha	ha	赤	
認農		肉用牛、飼料作物等	2.2 ha	ha	肉用牛、飼料作物等	2.2 ha	ha	赤	
認農		水稻	1.3 ha	ha	水稻	11.8 ha	ha	赤	
認農		白ネギ、ダイコン等	0.5 ha	ha	白ネギ、ダイコン等	0.5 ha	ha	赤	
認農		酪農、肉用牛	27.3 ha	ha	酪農、肉用牛	27.3 ha	ha	赤	
認農		水稻、肉用牛	2.0 ha	ha	水稻、肉用牛	2.0 ha	ha	青	
認就		肉用牛	0.4 ha	ha	肉用牛	0.4 ha	ha	緑	
認就		肉用牛	1.6 ha	ha	肉用牛	1.6 ha	ha	緑	
利用者		飼料作物	26.6 ha	ha	飼料作物	26.6 ha	ha	青	
利用者		水稻、肉用牛	3.3 ha	ha	水稻、肉用牛	3.3 ha	ha	青	
利用者		養鶏	0.3 ha	ha	養鶏	0.3 ha	ha	青	
利用者		養鶏	3.9 ha	ha	養鶏	3.9 ha	ha	青	
利用者		水稻	3.1 ha	ha	水稻	3.1 ha	ha	青	
利用者		水稻、肉用牛	3.3 ha	ha	水稻、肉用牛	3.3 ha	ha	青	
利用者		水稻、トマト	2.2 ha	ha	水稻、トマト	2.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.2 ha	ha	水稻	2.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.6 ha	ha	水稻	2.6 ha	ha	青	
利用者		水稻	5.0 ha	ha	水稻	5.0 ha	ha	青	
利用者		水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.2 ha	ha	水稻	2.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.1 ha	ha	水稻	2.1 ha	ha	青	
利用者		水稻	3.3 ha	ha	水稻	3.3 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.8 ha	ha	水稻	2.8 ha	ha	青	
利用者		水稻、肉用牛	0.9 ha	ha	水稻、肉用牛	0.9 ha	ha	青	
利用者		養鶏	1.1 ha	ha	養鶏	1.1 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.6 ha	ha	水稻	2.6 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	3.2 ha	ha	水稻	3.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	8.2 ha	ha	水稻	8.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	青	
利用者		水稻	3.5 ha	ha	水稻	3.5 ha	ha	青	
利用者		水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.7 ha	ha	水稻	2.7 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	青	
利用者		水稻	4.8 ha	ha	水稻	4.8 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha	青	
利用者		水稻	2.8 ha	ha	水稻	2.8 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	青	
利用者		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	青	
利用者		飼料作物	99.3 ha	ha	飼料作物	99.3 ha	ha	青	
利用者		飼料作物	64.6 ha	ha	飼料作物	64.6 ha	ha	青	
利用者		飼料作物	102.1 ha	ha	飼料作物	102.1 ha	ha	青	
計	0経営体		515.9 ha	0.2 ha		549.7 ha	0.3 ha		

白丹地区

- 認定農業者
- 認定新規就農者
- 利用者
- 今後検討

